

20 八行経発第 11 号
平成 20 年 6 月 19 日

八王子市監査委員	中	田	美	保	殿
同	森		英	治	殿
同	両	角		穰	殿
同	村	山	博	夫	殿

八王子市長 黒 須 隆 一

包括外部監査結果に基づく措置について（通知）

このことについて、地方自治法第 252 条の 38 第 6 項の規定により別紙のとおり通知
します。

平成15年度

監査テーマ	委託料に関する財務事務の執行について
監査項目	委託業務の経済的合理性の事前検証について
指摘項目	委託業務の経済的合理性の事前検証について
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 指摘 <input type="checkbox"/> 意見
指摘内容 (概要)	職員の業務効率検証のための個別業務処理量や現在の業務時間、それに必要な標準業務時間等の基礎データはなく、特に有効な検証手法がない状況であった。
措置内容	平成19年4月、経営監理室に、事業をより進化させ、改善・改革を進めていくことを目的とし、事業監査担当を配置した。介護サービス課等において、個別業務ごとの処理量や現在の業務時間、それに必要な標準業務時間等を使用して検証を実施し、所管へ改善を働きかけた。今後も適宜、このような分析手法を導入し、業務の効率化に向けた検証を行っていく。
措置時期	平成20年4月1日
所管部課	行政経営部 経営監理室

平成15年度

監査テーマ	委託料に関する財務事務の執行について
監査項目	建物清掃委託について
指摘項目	市外業者を含めた指名競争入札の導入
区分	<input type="checkbox"/> 指摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意見
指摘内容 (概要)	競争性を確保するためにも、入札者の1、2割程度は市外業者を含めた競争入札を実施すべきである。
措置内容	平成20年度から執行予定額1千万円以上の案件は市内に営業所等がある市外業者も含めた一般競争入札、執行予定額50万円超1千万円未満の案件は指名競争入札とした。
措置時期	平成19年10月19日
所管部課	財務部 契約課

監査テーマ	委託料に関する財務事務の執行について
監査項目	委託業務の経済的合理性の事前検証について
指摘項目	業務効率化のためのタイムレポートの導入
区分	<input type="checkbox"/> 指摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意見
指摘内容 (概要)	定員管理に必要な「事務事業を遂行するために必要な作業量を、何時間で処理しているのか」という効率性に関する基礎情報を入手するため、ABC/A BMおよびその前提のタイムレポートの導入検討が必要である。
措置内容	介護サービス課において実施している介護認定調査事務について、タイムレポートの手法に準じた業務分析を行った。業務を内容ごとに分類し、それぞれに実績や類似都市のデータを基に作業標準時間を算定。正規職員、嘱託員、臨時職員ごとに、認定調査事務に必要な人員配置を明示することで経済的・合理的な人員の配置を検証することができた。今後も適宜、このような業務分析手法を導入し、事務事業の効率化に向けた検証を行っていく。
措置時期	平成20年4月1日
所管部課	行政経営部 経営監理室

平成17年度

監査テーマ	公の施設の管理運営について
監査項目	八王子市斎場
指摘項目	市民からの苦情・要望
区分	<input type="checkbox"/> 指摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意見
指摘内容 (概要)	市内では式場が不足していることから、式場の増設を検討することが望まれる。 なお、その際には、同時に使用料金体系の見直しが必要である。
措置内容	(財)八王子市住宅・都市整備公社が、平成20年4月1日榎原斎場（式場4室）を開 設した。これに伴い市と公社で連携しインターネットによる予約案内システムを併 せて構築し、式場の申し込み等について、市民へのワンストップサービスが実現し た。なお、式場増設に伴う使用料金体系の見直しについては、公社による管理運営 のため、市の収支には影響がなく、また榎原斎場と施設の内容や料金体系が異なる ことから、現状の式場設備の状況下での見直しは困難である。
措置時期	平成20年4月1日
所管部課	市民部 斎場事務所

平成18年度

監査テーマ	下水道事業における事務の執行及び事業の管理について
監査項目	財務の視点からの経営評価について
指摘項目	下水道使用料の徴収業務の経費負担について（対象経費の詳細把握について）
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 指摘 <input type="checkbox"/> 意見
指摘内容 （概要）	<p>下水道事業が経費負担する対象経費の詳細な内訳が下水道部では把握されずに毎年支出されている。</p> <p>公式に多摩改革本部に対して積算データの詳細な内訳を提供されるよう部として要望されるべきものと考えられる。</p>
措置内容	<p>多摩下水道使用料徴収事務委託協議会参加各都市と連携し、多摩水道改革本部に対し詳細の説明を求め、経費の詳細について入手し、検証を行った。</p>
措置時期	平成20年3月
所管部課	環境部 水循環室

平成18年度

監査テーマ	下水道事業における事務の執行及び事業の管理について
監査項目	財務の視点からの経営評価について
指摘項目	発生主義会計の手法の活用に向けて
区分	<input type="checkbox"/> 指摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意見
指摘内容 (概要)	経営分析を実施するためには、発生主義に基づく財務諸表を作成することが必要である。そのためには、財産調査等に基づく公有財産台帳や管渠台帳等の記載の整備と実際の財産の存在を確認することなどが必要である。このような業務は、下水道部全体として、また、管財課や財政課など財務部門と連携しながら、業務を強力に実施する体制を確立する必要がある。
措置内容	下水道部で協力し、18・19年度の財務諸表を作成し財産の把握に努めた。 なお、財務部門でも、20年度は東京都市公会計制度研究会の方向性を踏まえ財務書類4表を作成・公開する予定であるため、全庁的に下水道部を含む関係所管と連携のうえ新公会計制度に対応した固定資産台帳を整備予定である。
措置時期	平成19年12月
所管部課	環境部 水循環室 財務部 財政課

監査テーマ	下水道事業における事務の執行及び事業の管理について
監査項目	財務の視点からの経営評価について
指摘項目	総務省基準モデルによる財務諸表の試作について（流域下水道への維持管理負担金等の負担について）
区分	<input type="checkbox"/> 指摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意見
指摘内容 (概要)	行政コスト計算書による分析結果を精査し、コスト削減への努力を行う必要があるものと考えられる。
措置内容	行政コスト計算書に替わる損益計算書を作成し、より一層のコスト削減に取り組んでいる。
措置時期	平成19年4月
所管部課	環境部 水循環室

平成18年度

監査テーマ	下水道事業における事務の執行及び事業の管理について
監査項目	財務の視点からの経営評価について
指摘項目	総務省基準モデルによる財務諸表の試作について（収入未済の管理について）
区 分	<input type="checkbox"/> 指 摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意 見
指摘内容 （概要）	財務諸表に明示的に貸倒引当金を設定することにより、その存在への認識の明確化や資産の回収可能性への注意の集中と回収努力の向上など、実務的な活動への示唆が含意されているものと考えられる。
措置内容	受益者負担金の収入未済分については、財務諸表の中で貸倒引当金を設定している。 また、電話催告・休日の個別訪問徴収により未収金の回収に努力している。
措置時期	平成19年12月
所管部課	環境部 水循環室

監査テーマ	下水道事業における事務の執行及び事業の管理について
監査項目	財務の視点からの経営評価について
指摘項目	総務省基準モデルによる財務諸表の試作について（今後の活用のために）
区 分	<input type="checkbox"/> 指 摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意 見
指摘内容 （概要）	発生主義会計による財務諸表を作成する場合、多くの職員がその作業に関わることで、その認識や活用のためにも重要である。 現在作成が進んでいる地方公営企業ベースの財務諸表の作成に、下水道部及び市財政課の職員がより多く関わり、下水道事業の経営改善と更には他の行政分野の事務事業の改善のために活用されることを期待する。
措置内容	19年度に財務諸表を作成する際には、多くの職員が携わることで、その認識を深めることができた。財務諸表の作成を継続することにより、経営改善に発生主義会計的発想を取り入れている。
措置時期	平成19年12月
所管部課	環境部 水循環室

平成18年度

監査テーマ	下水道事業における事務の執行及び事業の管理について
監査項目	下水道部の工事請負・委託契約等について
指摘項目	工事請負契約の入札について（くじ引きの状況について）
区分	<input type="checkbox"/> 指摘 <input checked="" type="checkbox"/> 意見
指摘内容 （概要）	下水道工事契約の最低制限価格の精度を上げていくような対応策を考慮すべきものと考えられる。この点については契約課においては、総合評価方式を取り入れるなどの研究、検討を行っているということであるので、それを含めて、入札制度のより一層の改善を期待したい。
措置内容	平成19年4月に「八王子市における総合評価方式のガイドライン」を策定し、同年7月から平成21年3月まで総合評価方式による入札を試行導入しており、試行結果を検証し入札・契約制度の改善を図る。
措置時期	平成19年7月1日
所管部課	財務部 契約課